

平成28年度 第3回
下水道若手職員によるネットワーク(下水道場)
報告書

国土交通省水管理・国土保全局 下水道部

平成28年度の主テーマ

平成28年度 下水道場テーマ

1 収益拡大戦略 (**もうける**下水道)

- 下水道資源の売買、処理場の遊休地の利活用、開発技術の特許、他自治体のコンサルティングなど、使用料以外の収益拡大方策について議論

2 次世代技術戦略 (**かわる**下水道)

- 日頃、職員として改善したいと思っていることを議論し、将来実現すべき技術について議論



2つのテーマで年間を通じて議論を深める

若手の提案

開催概要

平成28年度第3回下水道若手職員によるネットワーク(下水道場) ～若手の提案「もうける下水道」「かわる下水道」～

テーマ「提案のとりまとめと発表」

開催日時：平成29年2月3日（金）13時～17時

開催場所：経済産業省 別館3階 312号会議室

参加者数：自治体64名（都道府県14名、政令市24名、一般市24名、公社1名）
土木研究所1名

プログラム

1. 開催挨拶
国土交通省下水道部下水道企画課下水道事業調整官 松原誠
2016年ミス日本水の天使 須藤櫻子さん
2. 各班の発表
(1)若手の提案とりまとめについて
国土交通省下水道部下水道企画課 三輪一聡
(2)各班の発表
3. グループディスカッション
「最強のサッカーチームをつくろう！」
講師：横浜ウォーター株式会社
取締役 プロジェクト統括本部長 鈴木慎哉氏
4. 表彰式
プレゼンター：2016年ミス日本水の天使
須藤櫻子氏
5. 講評

松原誠

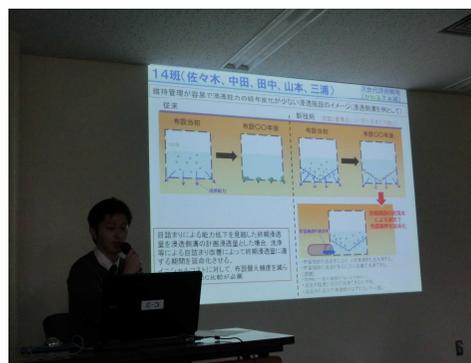


開催概要

平成28年度第3回下水道若手職員によるネットワーク(下水道場) ～若手の提案「もうける下水道」「かわる下水道」～

発表

「もうける下水道」について1～8班、「かわる下水道」について9～16班から発表を行った。



グループディスカッション

横浜ウォーター株式会社 取締役
プロジェクト統括本部長
鈴木氏からご講演いただき、その後、参加した下水道場生達で、グループディスカッションを行った。



開催概要

平成28年度第3回下水道若手職員によるネットワーク(下水道場) ～若手の提案「もうける下水道」「かわる下水道」～

表彰

各班の発表について参加した下水道場生が投票を行った。
投票により、「もうける下水道」については7班、「かわる下水道」については9班が優秀賞を受賞した。
また、2016年度ミス日本水の天使須藤氏の投票により2班が特別賞（水の天使賞）を受賞した。

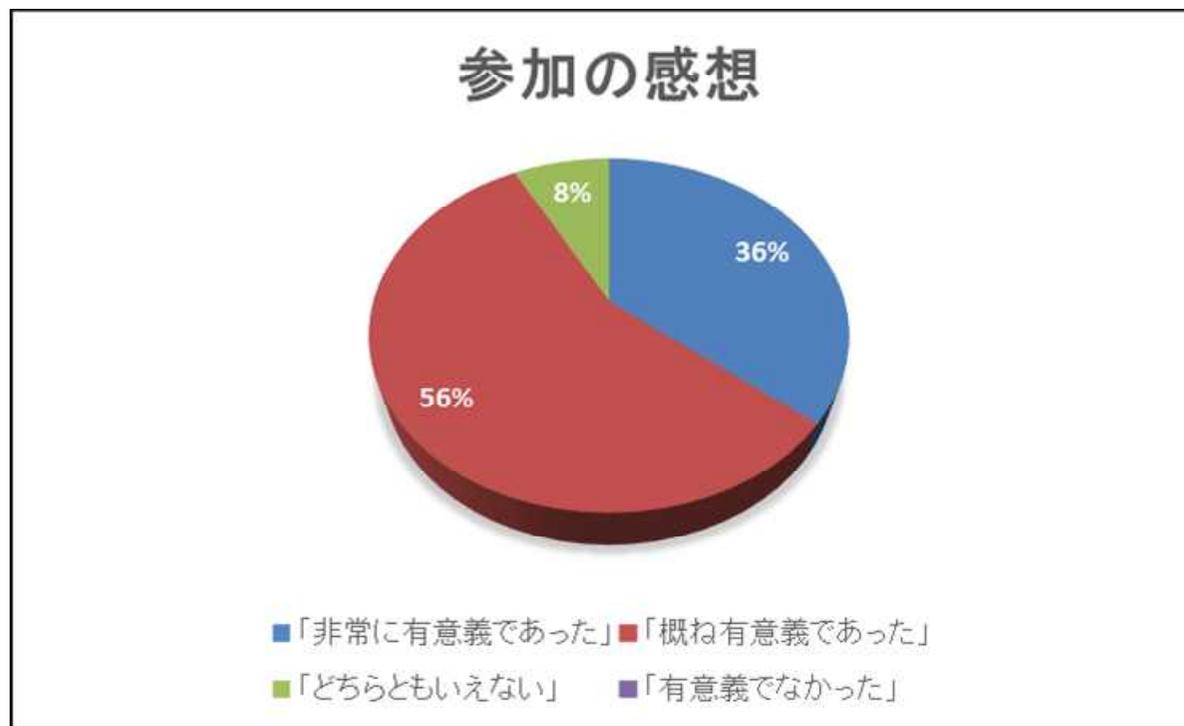


アンケート集計結果

下水道場開催後、参加者に対してアンケートを実施した。回答数は64であった。

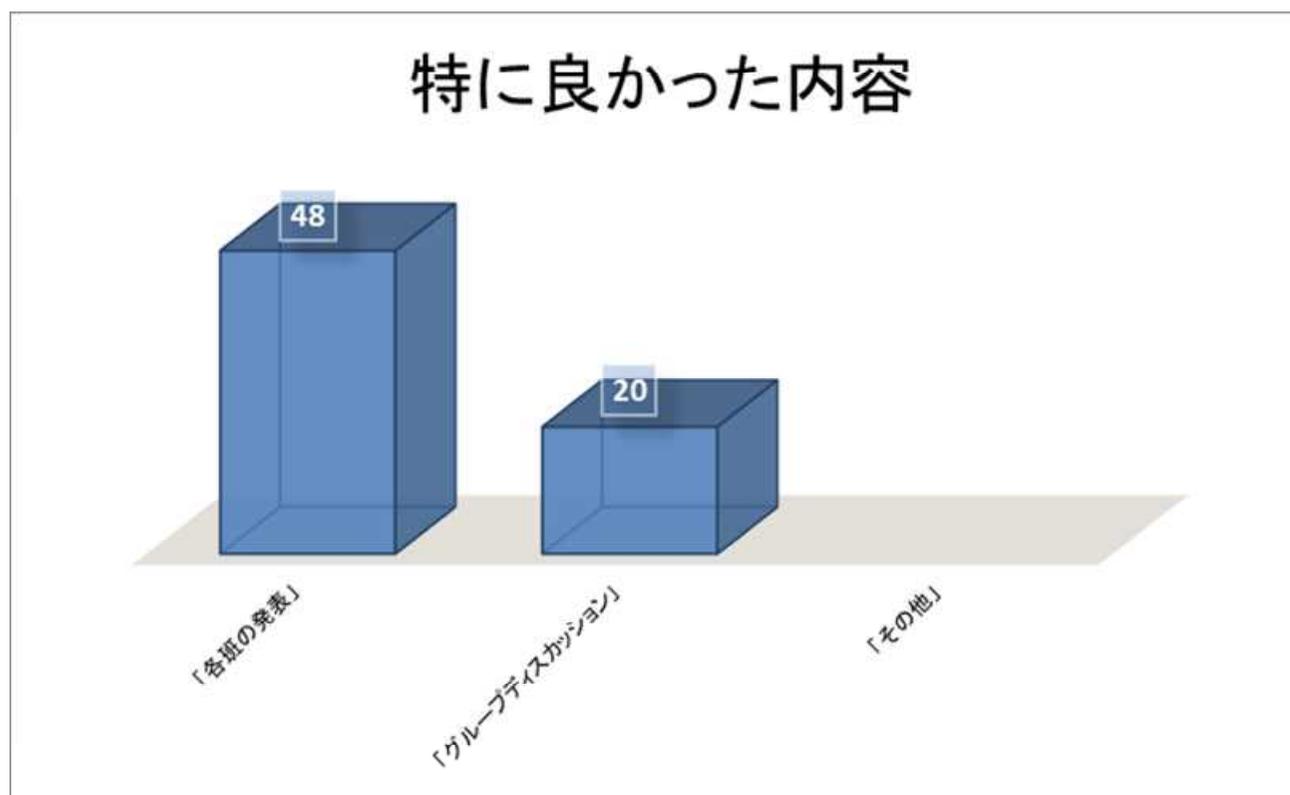
Q1 参加者の感想

下水道場に参加した感想を尋ねたところ、「非常に有意義であった」が23名(36%)、「概ね有意義であった」が36名(56%)であった。「どちらともいえない」が5名(8%)であったが、「有意義でなかった」と答えた参加者は皆無であった。



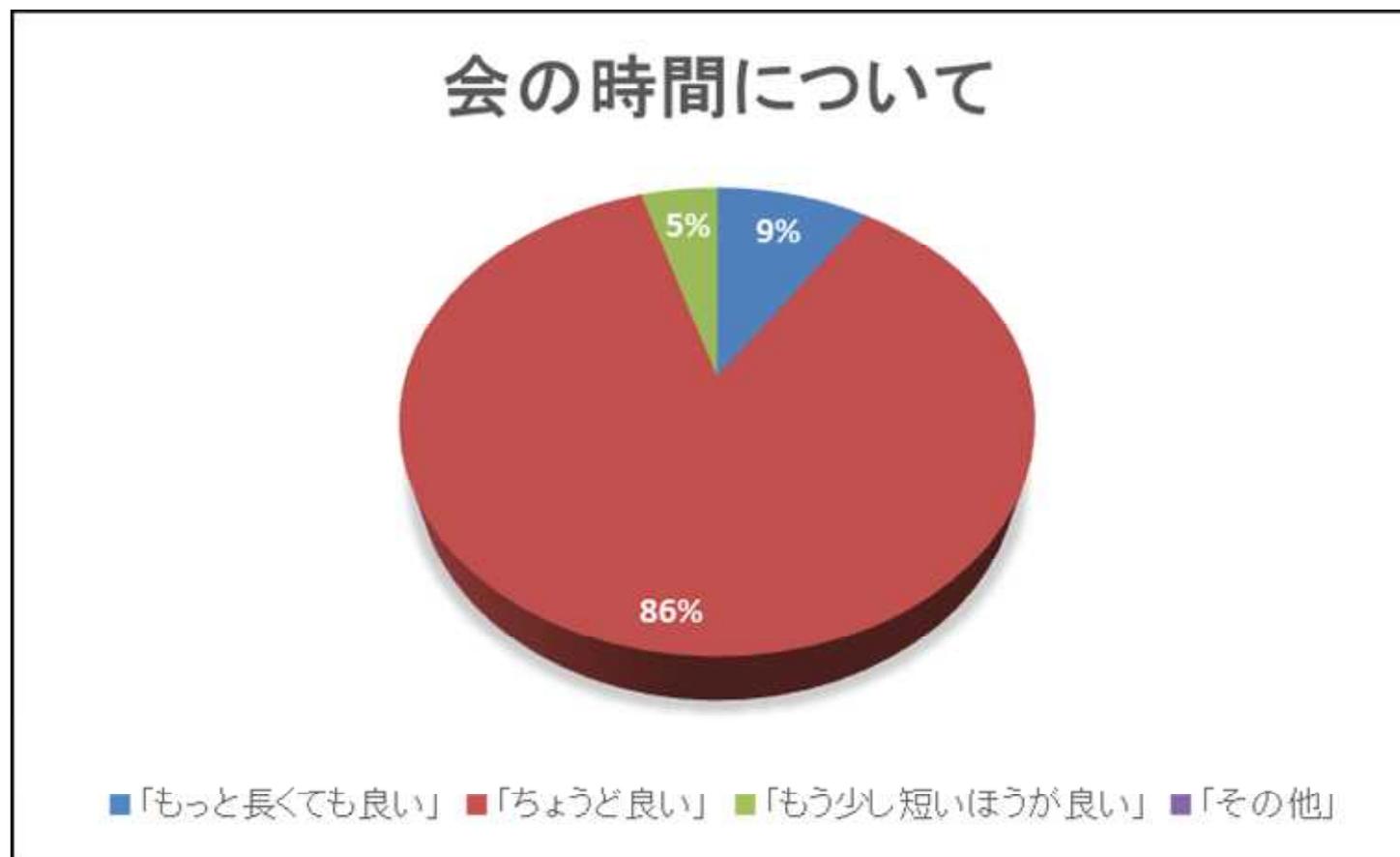
Q2 特に良かった内容

特に良かった内容を尋ねた(複数回答可)ところ、「各班の発表」が最も多くの支持を集めて48名(71%)であった。ほかは「グループディスカッション」が20名(29%)であった。



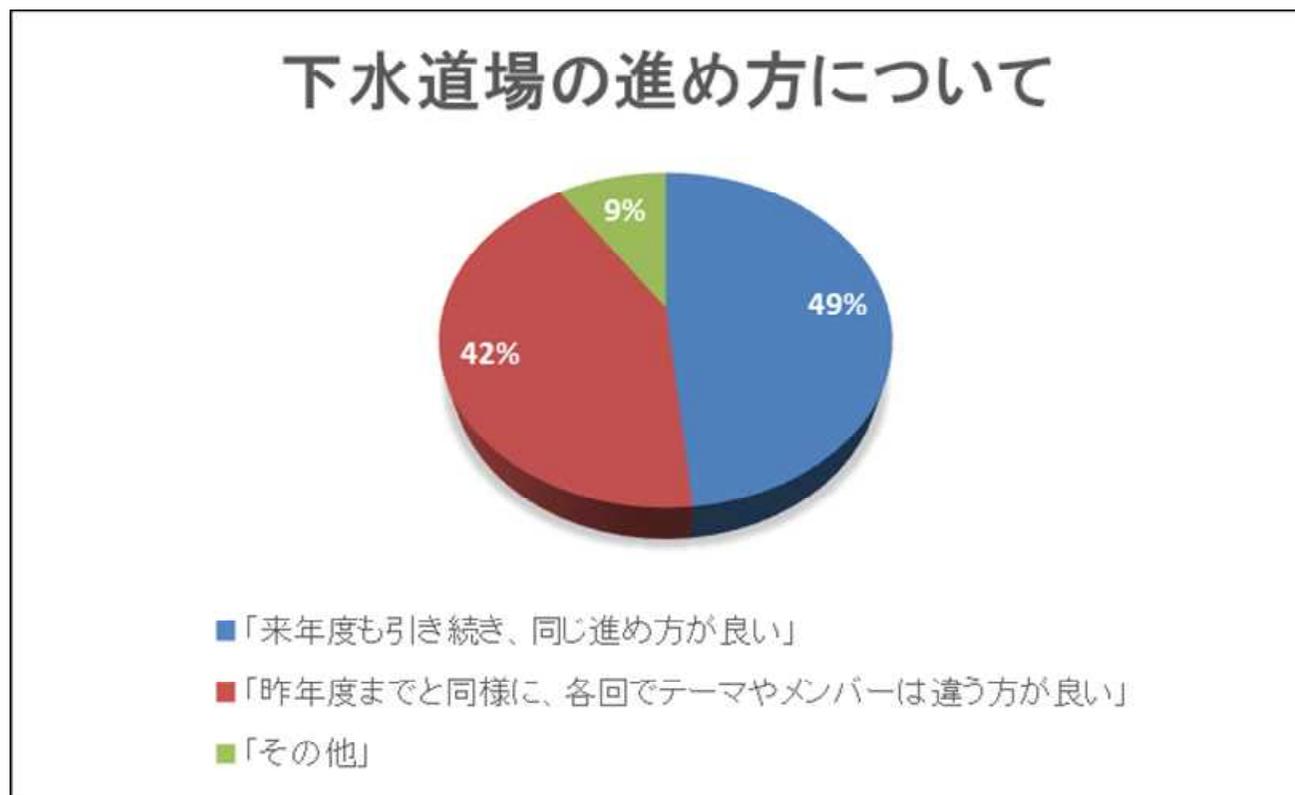
Q3 会の時間

会の時間について尋ねたところ、総回答数の86%に当たる55名が「ちょうど良い」と回答。「もっと長くても良い」は6名(9%)、「もう少し短いほうが良い」は3名であった。



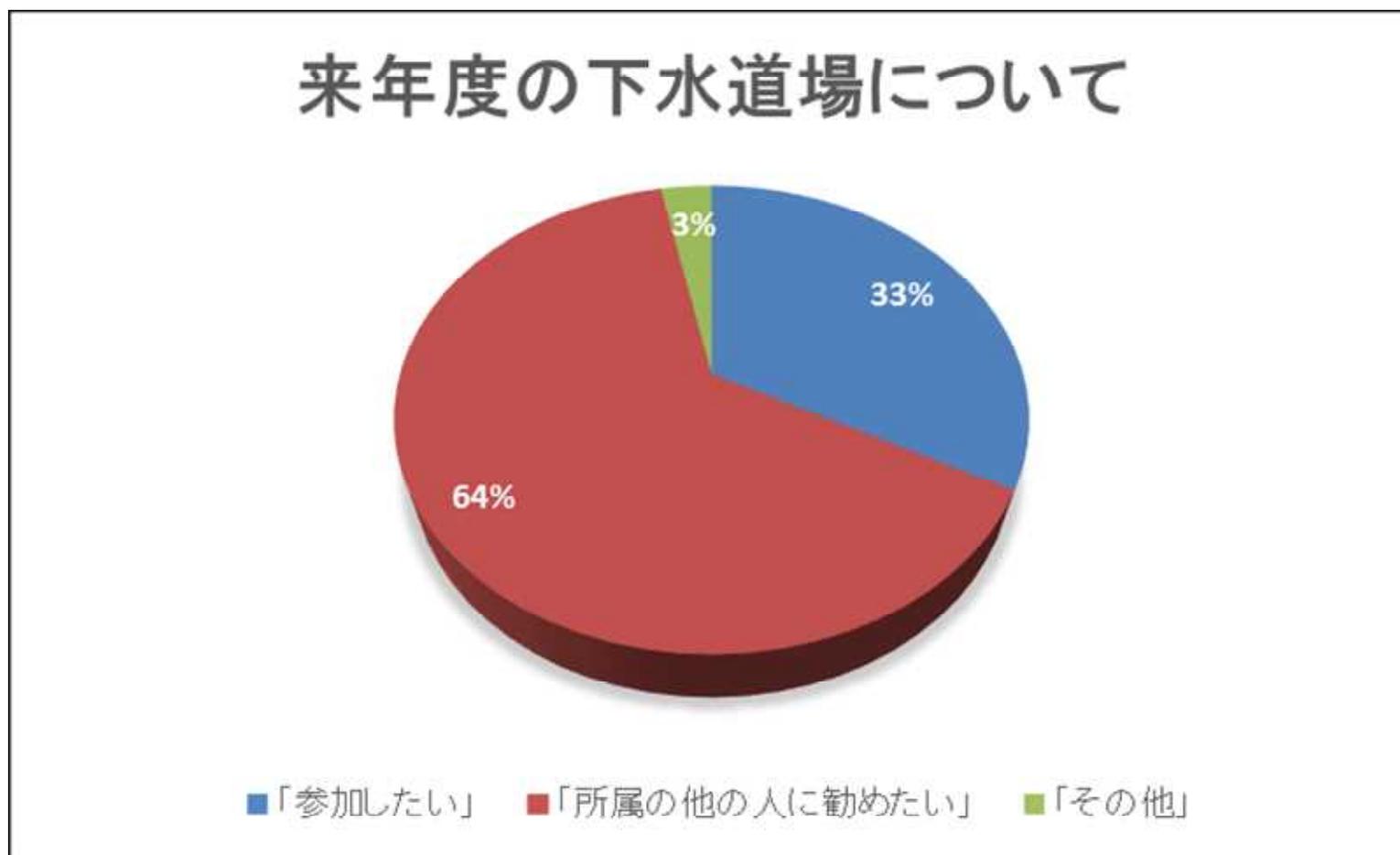
Q4 来年度の下水道場の進め方について

来年度の下水道場の進め方について尋ねたところ、「来年度も引き続き、同じ進め方が良い」と回答した方は、31名(49%)、「昨年度までと同様に、各回でテーマやメンバーは違う方が良い」と回答した方は、27名(42%)となり、ほぼ同じ割合であった。「その他」と回答した方は6名(9%)であり、回答内容としては「毎回同じメンバーが良い」、「テーマが広すぎたのでは」、「民間の方とのディスカッションの場があると良い」が挙げられた。



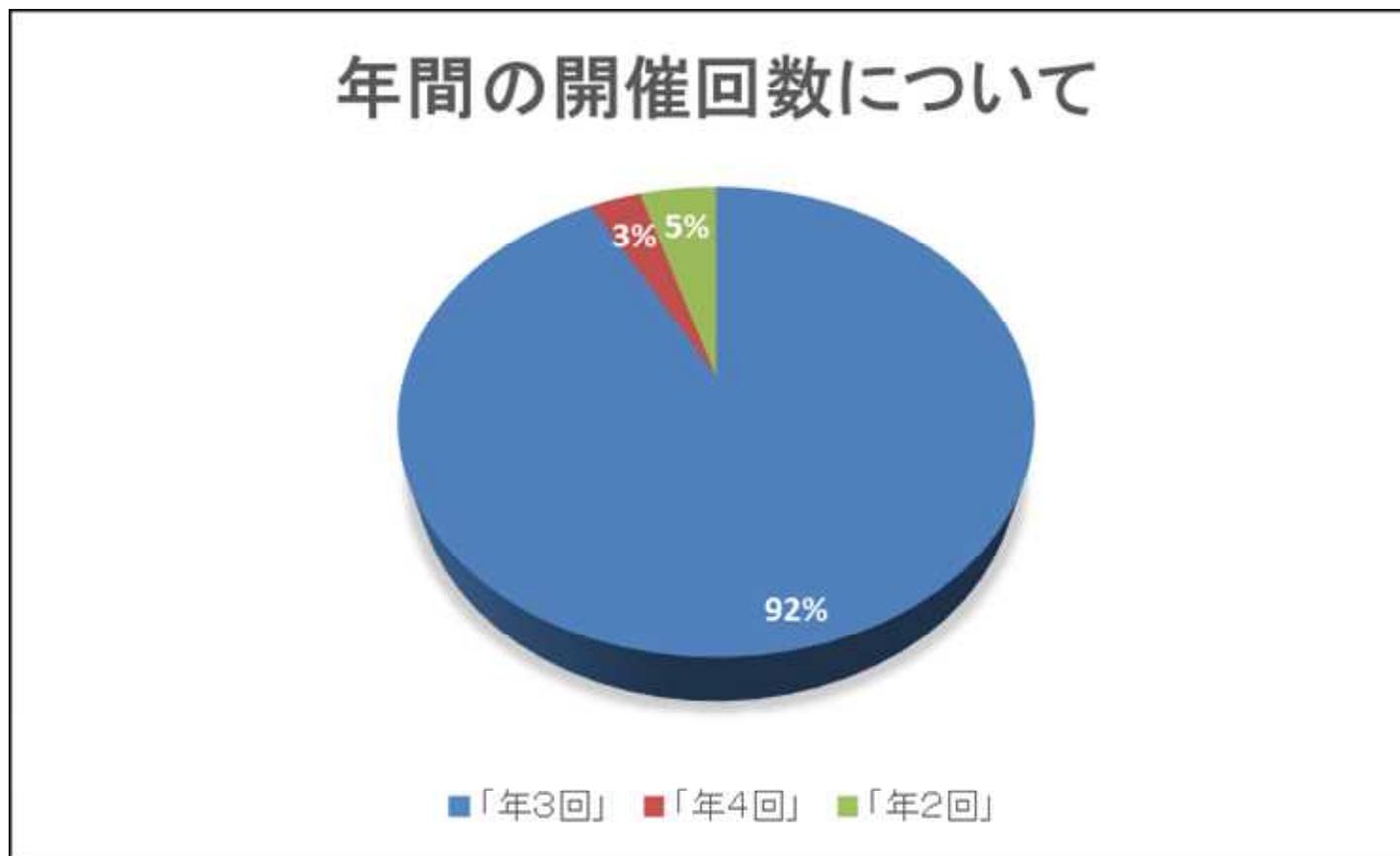
Q5 来年度下水道場について

来年度下水道場の参加意思について、64%に当たる41名が「所属の他の人に勧めたい」と回答。「参加したい」の回答が21名(33%)、「その他」の回答は2名(3%)であった。



Q6 下水道場の年間の開催回数について

来年度の開催回数については、**全体の92%(59名)**が「**年3回**」の開催を希望と回答した。「**年4回**」と回答したのは2名(3%)、「**年2回**」と回答したのは3名(5%)であった。



Q7 今年度の改善点

- ・開催日をもっと早めに教えてほしい
- ・発表テーマを変えても良かったと思う(2,3回目)
- ・班同士のつながりは希薄だった
- ・3回とも同じメンバーで進めたかった
- ・班で討論する時間をもっと取ってほしい
- ・発表時間が全班が長くなり、後半の班が気の毒でしたので、発表時間を守るよう厳格にしてはどうか
- ・テーマをもう少し最初からしぼるのも良いのでは
- ・半日ではなく1日で行ってほしい
- ・欠席者から課題の作成に関して協力が全く得られなかった。特に2,3回目は責任感をもって取り組むよう自治体に伝えてほしい
- ・課題の仕上げをもう少し具体的に指示してほしい
- ・事前課題の提出にもう少し余裕がほしい
- ・メンバー間の負担の平準化
- ・第2,3回で班を固定したので、班の欠席者がいると、他の班員の負担が増えた
- ・協議の期間を長くとってほしい
- ・会場を地方にしてほしい
- ・地方開催を増やしてほしい

Q8 来年度下水道場についての進め方や取り扱ってほしいテーマの提案

- ・現在の下水道事業の課題
- ・全国の優良な経営事例
- ・積算や基準等
- ・事業区域等の縮小
- ・アセットマネジメント
- ・管渠の再構築
- ・下水道施設の更新
- ・GDの時間を取った方がよい
- ・都道府県、市町村で問題や課題が大きく異なるので班分けを配慮するもしくは、両方に関係するテーマにしてほしい
- ・今年度のテーマをもっと掘り下げる

Q9 代表的な意見・要望・感想

- ・いろいろなメンバーと話せてたくさん情報交換できました
 - ・様々な人と知り合えて有意義な時間でした
 - ・他自治体と交流する場を設けていただきありがとうございました
 - ・ぜひまた参加したいです。ありがとうございます。
 - ・有意義な時間をありがとうございました
 - ・今回は道場外でのやり取りがあったため楽しかった
 - ・研修以外でも発表の資料作成等で他自治体職員と交流ができたことは良かった
-
- ・技術系と事務系ではそれぞれ別のテーマがよい
 - ・土木職員が圧倒的に多いため、機械・電気職員の意見が反映しづらくないかなと少し思いました。
 - ・1回毎に参加者が変わってしまうことがあるので、通しでのテーマではなく回毎にテーマと班を入れ替えてほしい
 - ・もう少し回数を増やすと良いかも
 - ・九州・北海道でも開催してほしい
 - ・地方開催も検討いただきたい
 - ・工法などの説明もお願いしたい

次回開催に向けて

平成28年度の下水道場は「収益拡大戦略(もうける下水道)」と「次世代技術戦略(かわる下水道)」の2テーマについて年間を通じて議論を深め、若手の提案をとりまとめた。



班	お名前	都道府県	ご所属(団体名、部署名)	役職
1	生田 晶教	福島県	郡山市下水道総務課	技査
	福田 友一	栃木県	栃木県都市整備課下水道室(下水道整備子一ム)	技師
	垣本 祐典	愛知県	岡崎市下水工事課	技師
	中山 雄太	静岡県	浜松市上下水道部下水道工事課	主任
2	増田 健	千葉県	市原市 下水道建設課	技師
	佐藤 和樹	愛知県	豊田市下水道建設課	主査
	須田 和樹	京都府	京都市下水道部設計課	技師
	森川 公一朗	大阪府	大阪市建設局下水道河川部調整課	係員
3	山根 悟史	神奈川県	横浜市環境創造局政策課	職員
	稲岡 泰明	大阪府	堺市下水道計画課	技師
4	清水 拓大	長野県	小諸市下水道課施設建設係	技師
	長澤 仁	富山県	富山市上下水道局下水道課	技師
	伊藤 雅大	愛知県	名古屋市上下水道局計画部下水道計画課	技師
	渡邊 陽一	熊本県	熊本市上下水道局計画調整課	主任技師

班	お名前	都道府県	ご所属(団体名、部署名)	役職
5	本多 紀大	福島県	いわき市下水道事業課	技術主任
	守屋 公雄	千葉県	千葉県県土整備部都市整備局下水道課	副主査
	木内 幸江	長野県	飯山市建設水道部上下水道課	主任
	中井 裕和	埼玉県	埼玉県 荒川右岸下水道事務所	技師
6	谷原 正伍	栃木県	小山市下水道課	技師
	大室 光章	埼玉県	さいたま市下水道計画課	主査
	山田 哲	新潟県	新潟市下水道部西部地域下水道事務所建設課	主査
	長井 渉	三重県	三重県 下水道課	主任
	豊福 俊佑	福岡県	福岡市道路下水道局下水道事業調整課	係員
7	吉本 真也	北海道	苫小牧市上下水道部下水道計画課	主査
	谷上 裕明	和歌山県	和歌山県 県土整備部 河川・下水道局 下水道課	副主査
	中山 瞳	熊本県	長洲町 下水道課	主査
8	武井 長閑	埼玉県	埼玉県下水道局下水道事業課	技師
	森川 脩之	東京都	東京都下水道局計画調整部計画課	主任
	加藤 啓介	愛知県	一宮市上下水道部下水道整備課	主任
	荒谷 仁志	大阪府	池田市上下水道部下水道工務課	技師
	藤原 基	熊本県	熊本市上下水道局下水道整備課	主任技師

班	お名前	都道府県	ご所属(団体名、部署名)	役職
9	安房 修志	北海道	札幌市下水道計画課	技術職員
	片岡 駿	愛知県	(公財)愛知水と緑の公社 下水道部	技師
	中西 啓	京都府	京都府環境部水環境対策課	技師
	永春 成章	兵庫県	神戸市建設局下水道部計画課	担当
10	山本 享宏	千葉県	千葉市下水道計画課	技師
	佐々木 信明	神奈川県	藤沢市下水道施設課	主任
	山崎 廉予		国立研究開発法人土木研究所 先端材料資源研究センター	研究員
11	茂木 祐典	秋田県	秋田市上下水道局下水道整備課	技師
	橋本 佳郎	京都府	京都市下水道部計画課	技師
	田中 庸平	兵庫県	西宮市下水計画課	副主査
12	田中 未来	岡山県	岡山市下水道河川計画課	技師
	岩永 和晃	長崎県	長崎市下水道建設課	職員
13	首藤 諭	北海道	北海道建設部まちづくり局都市環境課	主任
	能登谷 ゆかり	神奈川県	藤沢市下水道整備課	主任
	川北 健二郎	三重県	四日市市下水建設課	技師
	貝嶋 大輔	福岡県	北九州市上下水道局下水道部施設課	職員

班	お名前	都道府県	ご所属(団体名、部署名)	役職
14	佐々木 太毅	埼玉県	さいたま市下水道計画課	技師
	中田 知孝	神奈川県	横須賀市上下水道局技術部下水道管渠課	担当者
	田中 智規	兵庫県	兵庫県県土整備部土木局下水道課	職員
	三浦 健一	福岡県	福岡市道路下水道局下水道計画課	係員
15	池田 雄也	神奈川県	茅ヶ崎市下水道河川部下水道河川建設課	主任
	小向 努	石川県	金沢市企業局建設部建設課	主査
	中村 友哉	京都府	京都府環境部水環境対策課	技師
16	大竹 悠介	千葉県	千葉市下水道計画課	技師
	金子 健一	神奈川県	藤沢市土木計画課	主任
	原田 剛	愛知県	愛知県建設部下水道課	技師
	前田 貴啓	滋賀県	滋賀県下水道課	主任技師
	藤間 和貴	大阪府	大阪府北部流域下水道事務所総務企画課	主査
	角田 蛍	大阪府	大阪府都市整備部下水道室事業課	副主査
	中谷 文則	広島県	広島市下水道局施設部計画調整課	技師
	上野 剛	広島県	広島市下水道局施設部管路課	技師
	丸野 雄太郎	広島県	広島市下水道局施設部管路課	技師
	藤吉 祐樹	福岡県	北九州市上下水道局下水道部下水道整備課	職員